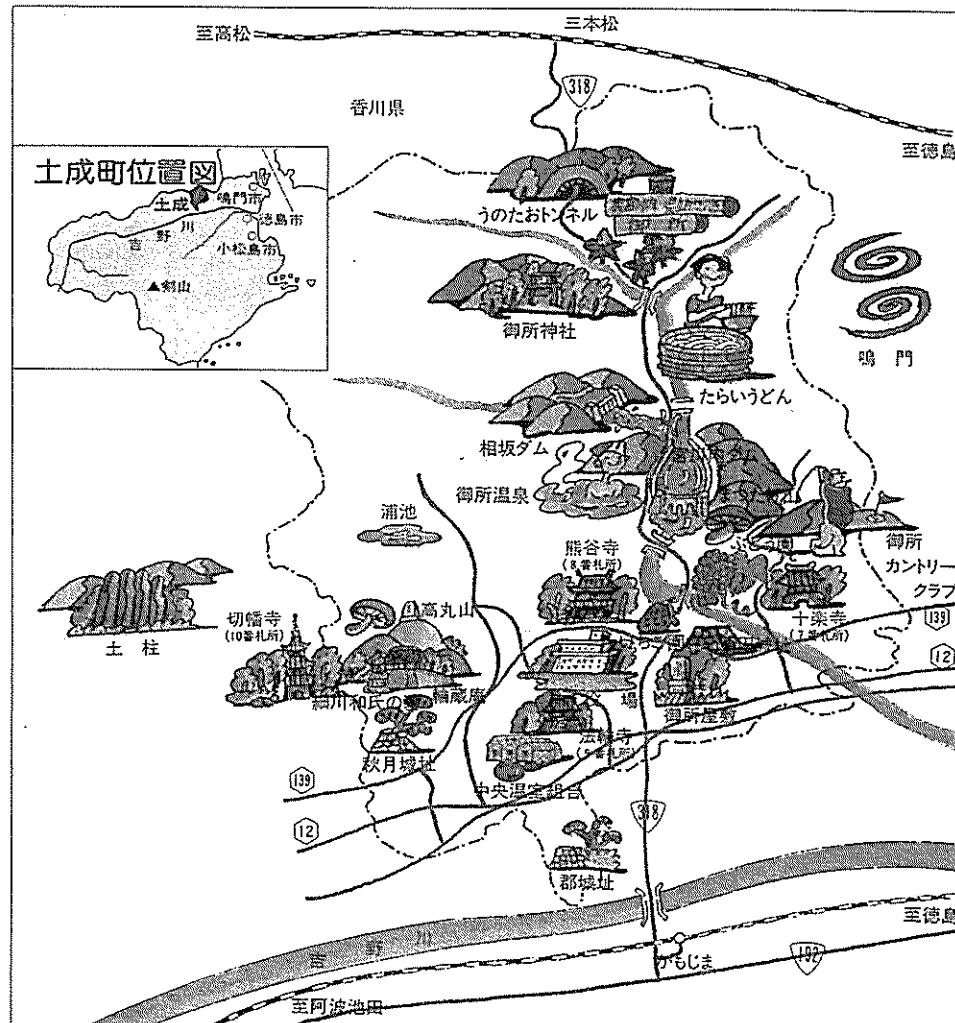


土成町観光案内図



吉野川水系宮川内谷川 宮川内ダム



徳島県

徳島県川島土木事務所
宮川内ダム管理所

徳島県板野郡土成町宮川内字平間
088695-2035

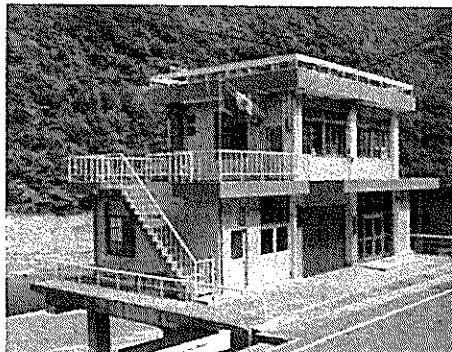
はじめに

宮川内谷川は、徳島県板野郡土成町の阿讃県境に源を発し土成町、吉野町、上板町、板野町を東に貫流して途中支流高尾谷川、泉谷川、大山谷川を集め旧吉野川に注ぐ流路延長24.0km、流域面積75.7km²の河川であります。河幅は下流部ほど狭い、いわゆる逆性的河川であり古くから下流部では甚大なる被害を受け、このため本河川の治水は早くから要望されておりました。

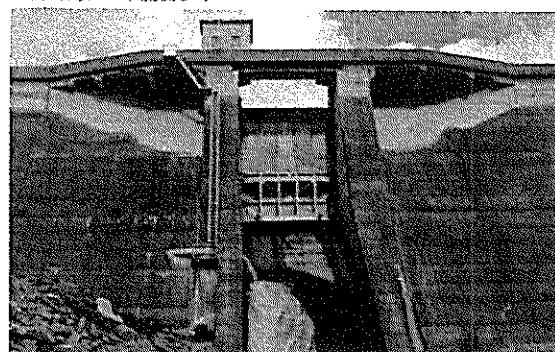
一方河川水は山地を離れると伏流水となりかんがい期には、下流地区の水田はしばしばかんばつに見まわれ、久しく用水の不足を訴えてきました。

これらの悩みを解決する施策として、多目的ダム建設が呼ばれ徳島県において昭和31年度から予備調査を実施し昭和34年度には、治水とかんがいを目的とする宮川内谷川総合開発事業として実施計画調査費が認められ、昭和35年度には建設事業に着手、昭和39年度に完成し、徳島県川島土木事務所宮川内ダム管理所で管理を行なう現在に至っております。

▼ダム管理所



▼宮川内ダム下流側より



ダムの目的

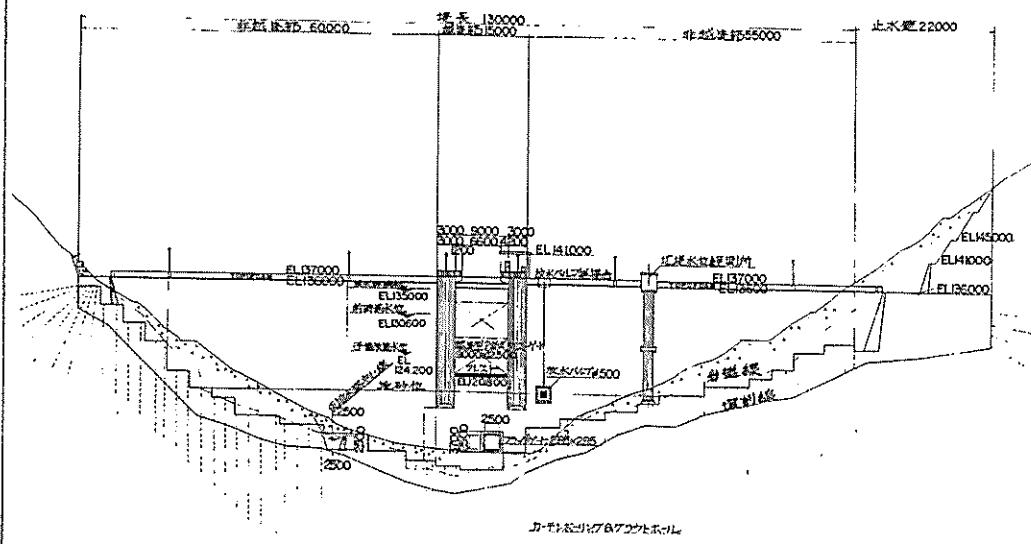
1. 洪水調節

宮川内谷川は昭和28年9月の台風13号により全流域各所で破堤欠壊し、大きな被害を受けたのを機会に下流部11kmを中小河川改修事業として、昭和30年度から着工しておりますが、この計画規模は確率年1%程度で安全度が低いため、ダムによりダム地点における計画高水流量364m³/s(確率年1%)のうち164m³/sを調節し、放流量を200m³/sに抑え下流の洪水防禦を行うものであります。

2. かんがい

下流御所地区75haと大井出地区26haの既成耕地に対して、かんがい期0.349m³/sの灌水補給を行うとともに、御所地区周辺50haの新規開田に対しても0.165m³/sのかんがい用水の供給を行ないます。

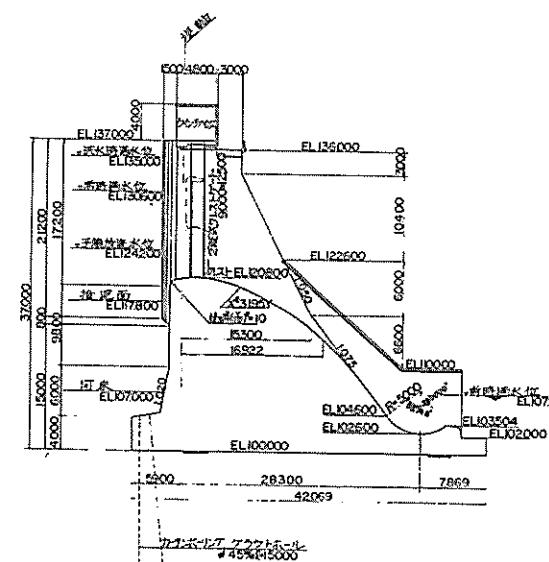
上流面図



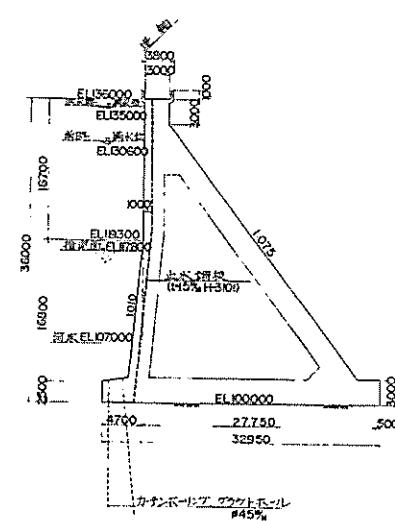
カーテン式リリーフアゲートトボル

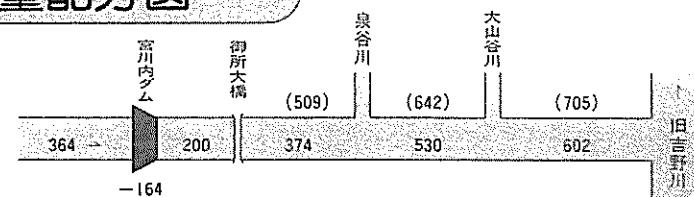
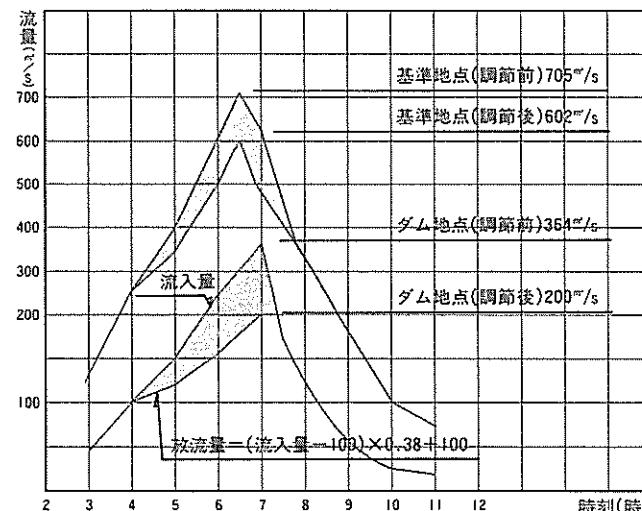
カーテン式リリーフアゲートトボル

越流部断面図

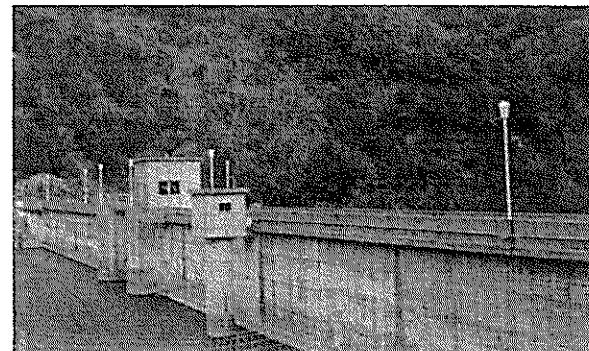


非越流部標準断面図

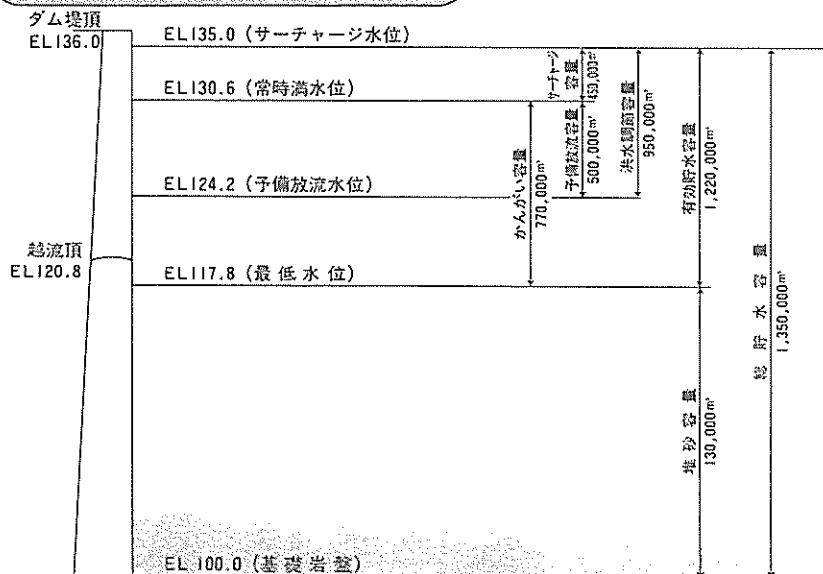
カーテン式リリーフアゲートトボル
P45%

流量配分図**洪水調節図**

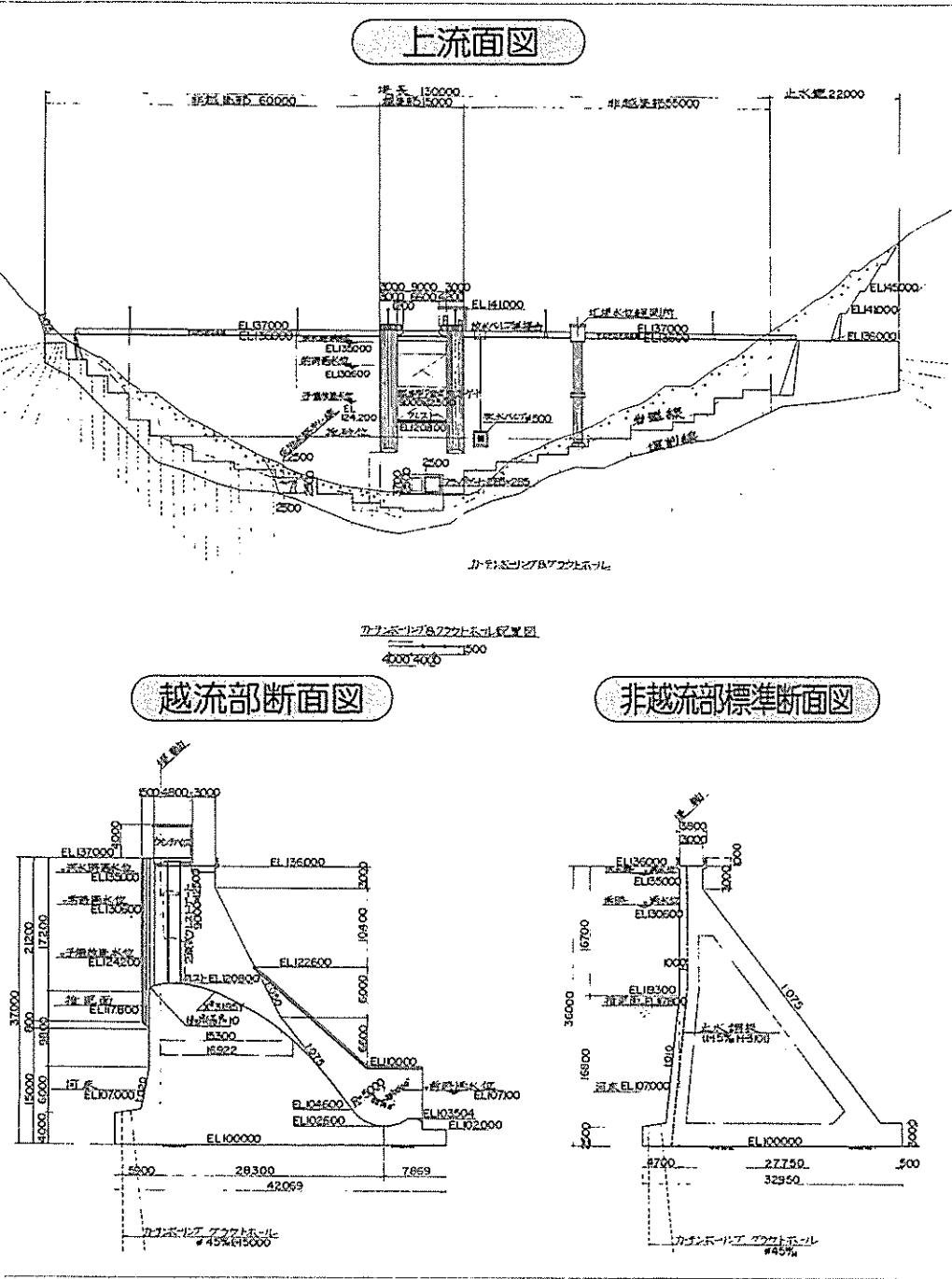
▼宮川内ダム上流側より

**ダム及び貯水池の計画諸元**

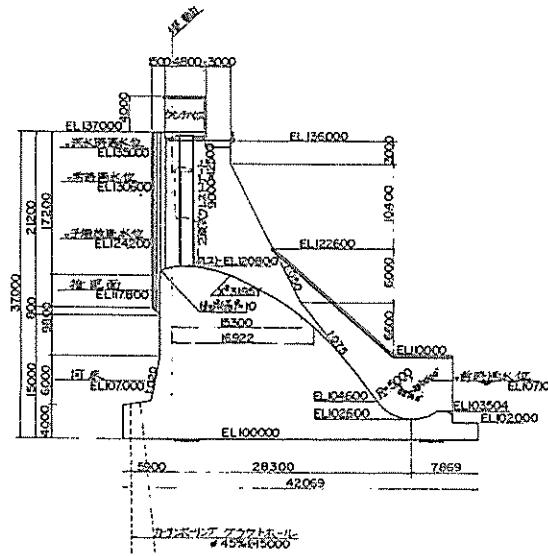
河 川 名	吉野川水系宮川内谷川	集 水 面 積	23.14 km²
位 置	徳島県板野郡土成町宮川内字平間	湛 水 面 積	0.127 km²
型 式	直線重力式コンクリートダム	洪 水 時 満 水 位	EL 135.0 m
地 質	砂岩及び砂岩粘板岩互層	常 時 满 水 位	EL 130.6 m
堤 高	36.0 m	予 備 放 流 水 位	EL 124.2 m
堤 頂 長	130.0 m	最 低 水 位	EL 117.8 m
堤 頂 幅	3.0 m	総 貯 水 容 量	1,350,000 m³
堤 体 積	40,000 m³	有効貯水容量	1,220,000 m³
非越流頂標高	EL 136.0 m	洪水調節容量	950,000 m³
越流頂標高	EL 120.8 m	かんがい容量	770,000 m³
放 流 設 備	2段式鋼製ローラーゲート 高さ12.5m×幅9.0m×1門 スルースバルブ直径500mm 1条	堆 砂 容 量	130,000 m³
総 事 業 費	626,000 千円 (治水83.9%、かんがい11.1%)	洪 水 期 間	6月15日～10月31日
堤 体 工 期	着工 昭和37年4月 竣工 昭和39年5月	かんがい期間	5月15日～9月30日
		水 没 戸 数	9戸
		田 2.5ha、畑1.05ha 山林11.4ha、その他0.35ha 計15.3ha	補 償

貯水池容量配分図

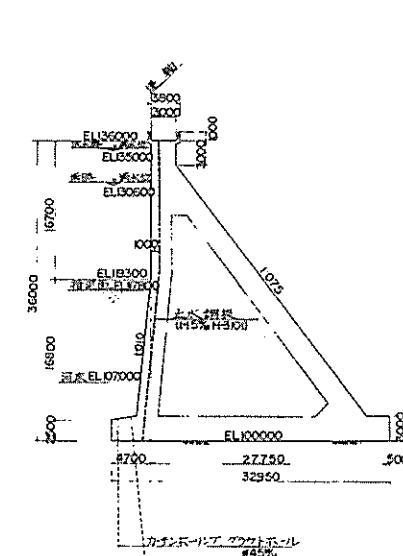
上流面図



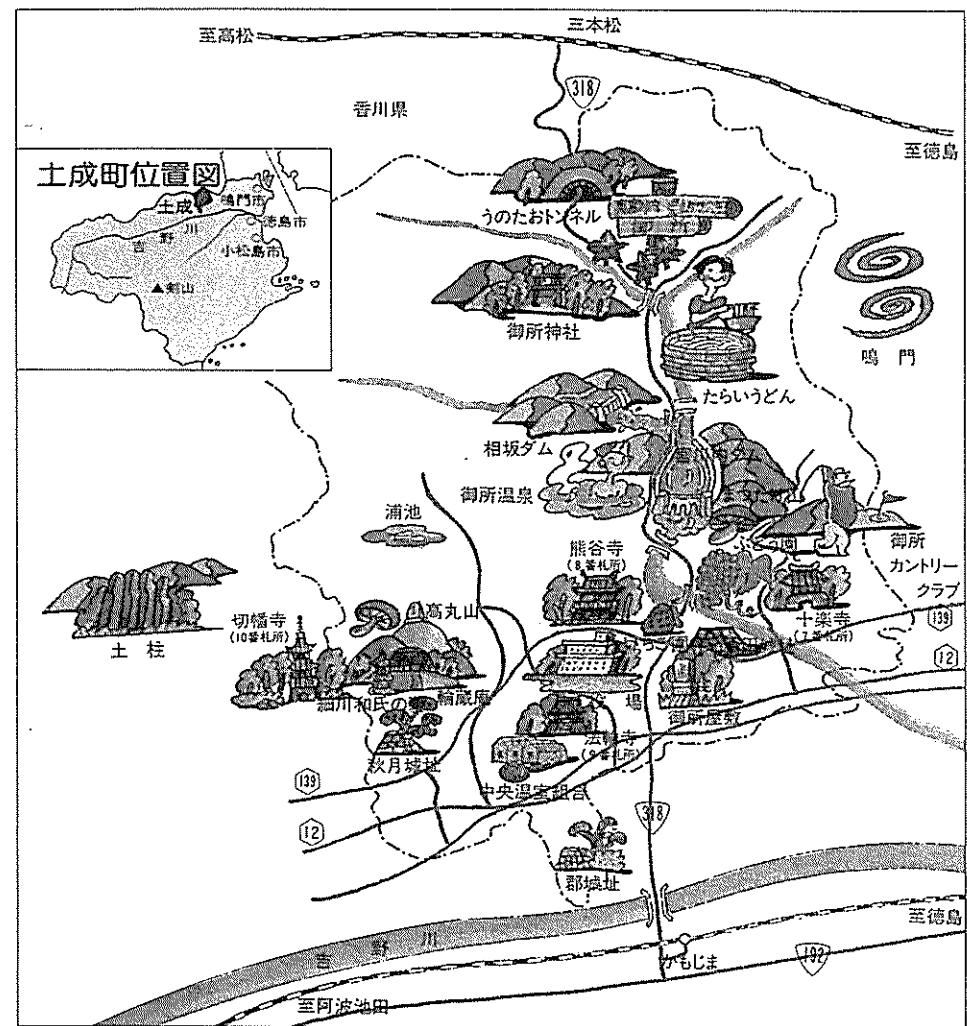
越流部断面図



非越流部標準断面図



土成町観光案内図



徳島県川島土木事務所
宮川内ダム管理所

徳島県板野郡土成町宮川内字平間
☎ 088695-2035